

簿記とは《簿記の基本》

- ・簿記とは（ ）の略語である。また、（ ）とはメモ帳や家計簿のようなノートのことである。
- ・例えば、家計簿をつけていると「何にどれくらい使ったか」が明確になるため、無駄使いの原因や節約する方法などを把握しやすくなる。



- ・このように、「帳簿」にしっかり（ ）しておけば、過去との比較が可能となり、将来の計画が立てやすくなる。これが大きな簿記のメリットである。
- ・これから学ぶ簿記では、会社におけるお金やモノ等の財産がいくらあるのかという（ ）と、ある期間を通していくらの儲けをだせたかという（ ）を明らかにしていく。



- ・財政状態を示すためには（ ）という書類を作成する。ちなみに、この書類は「Balance Sheet」の略語として（ ）とも呼ばれる。
- ・経営成績を示すためには（ ）という書類を作成する。ちなみに、「Profit & Loss Statement」の略語として（ ）とも呼ばれる。
- ・なお、貸借対照表と損益計算書などの書類はまとめて（ ）という。

